

溪流モニタリング調査の検討（案）

1．調査目的

本調査は、溪流地域の森林整備箇所周辺における水源環境保全施策の効果を検証するため、水質等を指標としたモニタリングを実施するものである。

2．調査対象地域

神奈川県内の相模川、酒匂川流域を中心とする神奈川県内とし、「1 水源の森林づくり事業の推進」「2 丹沢大山の保全・再生対策」「3 溪畔林整備事業」対象計画地に近接する溪流域から抽出した地点（15地点）とする。

3．調査項目

本調査における調査項目は、以下に示すとおりとする。

- ・ 水質（pH、SS、濁度）
- ・ 流量
- ・ 調査地点周辺の溪流環境

（ 水質・流量等の観測時は、気温、水温、透視度等の一般現場観測項目について記録する。）

4．調査回数及び調査時期

調査は、事業実施前、実施後を含めて実施する。計3調査年実施するものとし、各調査の回数及び時期は以下に示すとおりとする。

（1）水質

- ・ 平常時水質：年12回（毎月1回）
- ・ 降雨時水質：年2回

（2）流量

- ・ 平常時流量：年12回（毎月1回）
- ・ 降雨時流量：年2回

（3）周辺環境

- ・ 調査地点周辺の溪流環境：調査年毎に1回

5 . 調査方法

調査項目毎の調査方法は以下に示すとおりとする。

(1) 現地踏査 (周辺環境の調査)

現地踏査を行い、以下の項目について写真撮影等により記録する。

横断構造物
護岸
周辺土地利用
環境の概況

(2) 調査地点の設定

事業予定地に近接する溪流に水質・流量の調査地点を設定する。対象とする溪流に対して、1地点とする。

(3) 河川の水質、流量、溪流環境等の調査

水質 (pH、SS、濁度)

調査地点において水質を測定する。SS については、水を採取し持ち帰って分析する。

また、調査の状況については適宜写真撮影を行う。

調査時期

(平常時) 年 12 回 (毎月 1 回)

(降雨時) 年 2 回

調査方法

調査地点を設定し、上記項目の測定及び水の採取を行う。測定方法は JIS に準じた方法とする。

降雨時の調査は、1降雨に対してピーク流量を考慮し時間をずらして3回の採取とする。

流量

調査地点において流量を測定する。

また、調査の状況及び捕獲状況については適宜写真撮影を行う。

調査時期

(平常時) 年 12 回 (毎月 1 回)

(降雨時) 年 2 回

調査方法

調査地点を設定し、流速、水深の計測を行う。なお、流量が少ない場合は、

容器法等その他適切な方法を選択する。

降雨時の調査は、1降雨に対してピーク流量を考慮して3回とする。

調査地点周辺の溪流環境

調査地点及びその周辺の環境を記録する。

また、調査の状況については適宜写真撮影を行う。

調査時期

調査年毎に1回

調査方法

渓床を構成する材料(岩、礫、砂)及び溪岸の状況等、溪流を取り巻く環境について調査する。調査の範囲は調査地点の周辺とする。

6. 経費

1調査年あたり 約1,000万円

溪流モニタリング調査の検討（案の2）

1．調査目的

本調査は、溪流地域の森林整備箇所周辺における水源環境保全施策の効果を検証するため、石面付着物量を指標としたモニタリングを実施するものである。

2．調査対象地域

神奈川県内の相模川、酒匂川流域を中心とする神奈川県内とし、「1 水源の森林づくり事業の推進」「2 丹沢大山の保全・再生対策」「3 溪畔林整備事業」対象地に近接する溪流域から抽出した地点（15地点）とする。

3．調査項目

本調査における調査項目は、以下に示すとおりとする。

- ・ 石面付着物（乾燥重量、強熱減量）
- ・ 流速

（ 調査時に、気温、水温、透視度等の一般現場観測項目について記録する。）

4．調査回数及び調査内容

調査は、毎月1回行う。各調査地の瀬及び淵において各4個の石を採集し、それぞれ5 cm x 5 cm コドラート内の石面付着物を採集する。なお、流速は、石を採集する前に石の表面近くの流速を測定し記録しておく。

5．経費

1 調査年あたり 約700万円